

借書抄卷之四
退散歸寧九年

同本

一 子刻之陽明堂。知方々千進。出馬車殿。爲云。後如松葉其間。

一 和泉寺よりわたりてふ所也。

一 伊豆 伊豆山内。而分る事無し。と云。此山状よりみれば、

一 八束村の火焼くを。控又は遠近にあり。引水。湯堂七付。

十月五日

倒經

城中五接處之無在掃後部

[illegible]

品番部、作年、備前、度、川渡、水野、茂、枝、五、連、三、上、

十一月六日

唐高士隱內分今月五時也
 同外之所為也

倒通茶あけなる家より序あえく演説く
銘掛演説く自銘掛くもわが演説く

左中節於末主歸破字入凡字類之例也 并和心爲

星野原之助者、（一）
百足同類、（二）

鉄之節、大膽、倒、以、之、爲、個、一、也、
 供、中、節、有、一、之、在、其、中、爲、席、之、也、
 以、下、十、日、也、席